

# 町政をただす

## 問 吉田町長の4期目出馬表明を問う

**答** 「覚悟を持って、未来をひらく」をスローガンに、自らが覚悟をもってその先頭に立ちたいと決意をした。



さいとう 齊藤 議員  
のぼる 登

子育て環境の整備については、学校給食事業、子ども医療費の高校生までの無料化、さらに定住促進住宅を3地区へ整備し、充実を図った。

また、町民の命と健康を守る拠点として、町中心部に新診療所を開設したことや新保健センターを併設、食を通じた誘客や観光PRを積極的に

町の基幹産業である第一次産業の振興として、農業経営の安定化、漁業振興施設の整備、民間との提携によるサーモン養殖事業に投資してきた。サーモン養殖事業は、昨年度から商業生産がスタートし、町内出身者を中心に10人前後の雇用も生まれ、一つの成功事例と思っている。

**答** 町長

4期目に向けての出馬表明が新聞に掲載されたが、吉田町政3期12年を振り返っての感想、4期に向けた政策、経済対策、少子高齢化、人口減少など町長の思いを伺いたい。

**問** 齊藤議員



▲サーモン養殖事業

展開するとともに、長年の懸案事項であった、町道十二湖公園線の拡幅工事を実施した。

更には、災害に強いまちづくりのため、北金ヶ沢総合防災センターの整備をはじめ、避難道や防災・消防施設の充実などにも努めた。

3期12年を振り返ると、公約のある程度実現できたと思う反面、まだまだ、やり残したところもあると思っている。この達成できなかった部分

や時代の変化による多様な要請に因應するため、町民と共に深浦町の未来を切り開いていきたい、そして自らが覚悟をもってその先頭に立ちたいという決意を胸に、4期目に向けての「覚悟を持って、未来をひらく」のもと、町民の幸福のため、力を注いでいく。

足もとは、新型コロナウイルス感染症の影響で疲弊している水産業の復活を中心に、

# 町政をただす



▲定住促進住宅「深浦住宅」



▲定住促進住宅「大戸瀬住宅」



▲定住促進住宅「岩崎住宅」

農業・畜産・林業を含めた第一次産業の振興を強力に進めたい。  
そして、何と言っても、町民が安心して安全に暮らせることが一番重要なことを自ら認識し、子育て支援の更なる充実、地域医療や健康づくり、高齢者の生きがい活動についても、充実を図っていききたい。

私は、昨今の新型コロナウイルス感染症で疲弊した経済状況から、逃げることなく、国・県と連携を図りつつ、地域の特性に合った町独自でアイデアを出しながら、経済対策・政策に積極的に取り組んでいく。

少子高齢化、人口減少対策ですが、人口減少の要因は、人々の生活基盤の弱体化や将来への不安が少なからず影響しているものと考えており、人口減少そのものに歯止めをかけることは難しいまでも、町民の生活基盤を少しでも向上させていくこと、特に所得を増加させることが重要であり、第一次産業の振興や若者定住、結婚や子育て、少子化などの政策は、一人ひとり生活基盤が向上することによって相乗効果が発揮されるものと考えている。

人口減少による過疎化を防ぐための特効薬を見つけたとは思いますが、諦めることなく、自らが先頭に立って、職員一丸となって、



(施工前)



(施工後)



▶▶ 町道十二湖公園線

取り組んでいく。

これまで実施してきた政策を基本とし、4期目に当たっては、今以上に課題・難題が待ち受けているのかもしれないが、第一次産業の振興や第三セクターの改革、西海岸衛生処理組合の施設の改修、町

外からの人々を呼び込む政策、町の未来を担う人材の育成、子育て支援など、様々な政策に覚悟をもって積極的に展開し、そして強力に実行することにより、深浦町の未来をひらいていく決意です。